

登戸小学校 沿革

- 明治 6年 6月5日 第一大学区神奈川県管内第七中学区橘樹郡登戸村
第198番小学登戸学舎として発足。善立寺内に開校
児童数約30名。
- 8年 小学登戸学校と改称。
- 13年 公立登戸学校と改称。
- 15年 村立小学登戸学校と改称。
- 22年 稲田村立登戸学校となる。
- 25年 稲田村立尋常第二稲田小学校と改称。
中野島小学校を合併して分教場とする。
- 40年 光明院に仮校舎をおく。
- 大正 2年 中野島分教場を廃止し、高等科を設置。
稲田村立尋常高等第二稲田小学校と改称。
- 3年 登戸1329番地に平屋建9教室の校舎を建設。
- 4年 通学区域登戸・中野島。在籍数 男194名、女179名。
- 5年 初めての運動会を開催。
- 6年 女子実業補修学校を附設。
- 12年 稲田村立稲田第二尋常高等小学校と改称。
創立50周年目。
- 15年 同窓会創立。青年訓練所併設。
- 昭和 3年 後援会創立。
- 7年 稲田町立稲田第二尋常高等小学校と改称。
- 10年 稲田実業補修学校を廃止し、青年学校を設置。
- 11年 二階建校舎一棟12教室の新校舎の建築なり面目一新。
- 13年 川崎市稲田第二尋常高等小学校と改称。
- 16年 川崎市登戸国民学校と改称。
- 22年 川崎市立登戸小学校となる。給食が始まる。
- 24年 後援会を廃し、PTA誕生。
- 28年 創立80周年記念式典挙行。校歌改定。日光へ社会見学に行く。
- 29年 新校舎落成。
- 30年 給食室ができ、完全給食となる。
- 33年 4年御岳林間学校、5年箱根林間学校が始まる。
- 34年 3階建鉄筋校舎ができる。
- 35年 児童数が1600名を越え、中野島小学校分離独立。
- 36年 日光修学旅行が始まる。ひまわり級ができる。
- 38年 校旗制定。鼓笛隊編成。創立90周年記念式典挙行。
- 39年 講堂兼体育館新築。
- 42年 東生田小学校が分離独立。
- 43年 プール完成。
- 44年 プレハブ教室が建つ。

- 48年 旧校舎をこわし、鉄筋校舎に改築をする。
創立100周年記念式典挙る。
- 49年 宿河原小学校分離独立。
- 50年 校庭の散水栓ができる。
- 51年 木造第一校舎解体撤去。
- 55年 B棟とC棟ができる。
- 56年 校舎改築工事開始。
- 58年 鉄骨2階建て体育館落成。
- 59年 校舎改築落成記念並創立110周年記念式典挙る。
観察池完成。築山(大山すべり)・小鳥小屋完成。
- 平成 元年 5年生自然教室が始まる。
- 2年 4年生御岳林間学校終わる。
アルミ缶回収始まる。
- 3年 川崎市創意工夫展で学校賞、神奈川県学校賞、さらに科学長官賞に輝く。
夏休み親子工作教室が始まる。
- 4年 第2土曜日が学校休業日となる。
- 5年 事務センター設置。創立120周年記念式典挙る。
登戸環境大気測定所校庭に設置。
コンピューター室、障害者用のスロープとトイレができる。
- 6年 空き缶回収モデル校となる。
障害者用昇降スロープ完成。
- 7年 障害児級「ひまわり3」が新設。
PTAベルマーク300万点達成。
- 11年 学校図書相談員配置。
- 12年 パソコン22台導入、視聴覚室をコンピュータールームとする。
ゆとりの図書室ができる。
100周年記念タイムカプセル発掘。(11月8日)
研究推進校として研究報告会開催。
- 13年 第1回フェスティバル開催。
- 15年 創立130周年記念式典を行う。
郷土資料室ができる。
- 16年 給食民間委託試行。
- 18年 6年地区別運動会。パソコン40台導入。
登戸ミュージックタイム 多摩市民館で実施。
壁画「生命の記憶～未来への鼓動～」制作。
- 19年 文科省委嘱「地域ぐるみの学校安全体制推進モデル校」。
川崎市教育委員会図画工作科研究推進校をうける。
神奈川県公立小学校英語活動研究委託校をうける。
- 20年 「学校安全」文部科学大臣賞受賞。
「こどもの音楽の祭典」にスクールバンドが参加し、教育長賞に輝く。
わくわくプラザ移転工事を行う。
うさぎ小屋を新設する。

- 21年 「学校安全」内閣総理大臣賞受賞。
川崎市教育委員会ミュージック研究推進校をうける。
- 25年 創立140周年式典を行う。
- 27・28年 生活科・社会科研究推進校
- 28年 体育館改修工事
- 29年 校舎改修工事